岸和田市　地域資源循環分野における地場産業成長プランの概要

様式２－２

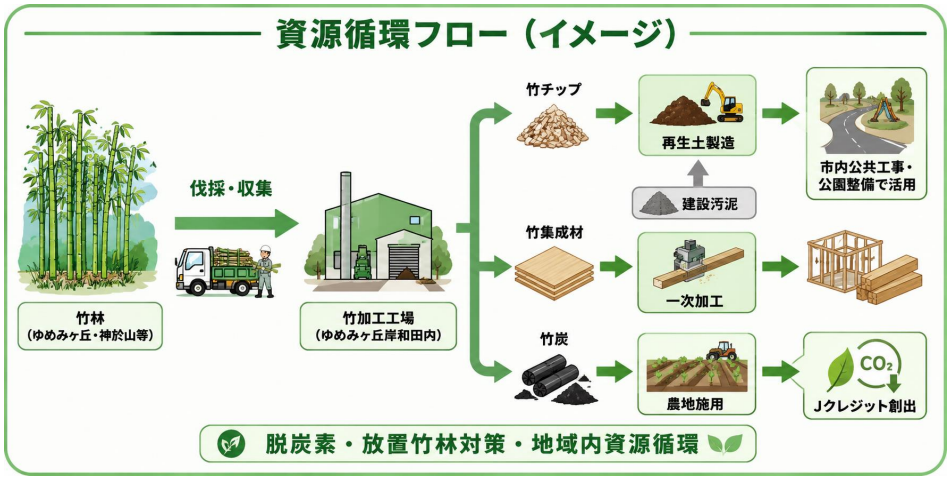
１．支援する分野

竹林の未利用資源（竹チップ・竹炭・竹集成材等）及び建設汚泥からの再生土の地域資源循環分野

２．支援する地域及び核となる事業者

【地域】
大阪府岸和田市（ゆめみヶ丘岸和田、神於山、蜻蛉池公園周辺）

【核となる事業者】
株式会社長谷工コーポレーション、JAいずみの、NPO法人神於山保全くらぶ、アドプトフォレスト参加企業（岸和田市内10団体）、ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会、かねひさ株式会社、岸和田市



３．目指す姿（目標）

【2030年目標】
・竹加工工場フル稼働：年間竹伐採、加工量の大幅拡大
・再生土製造量：市内公共工事で安定活用
・セメント代替によるCO_2削減に貢献
・Jクレジット創出：竹炭の農地施用により創出
・関係人口：ふるさと住民（竹林整備参加者）の継続的創出

【2035年目標】
・竹加工産業の完全自立（補助金依存からの脱却）
・域内雇用の創出（加工・管理・PR等）
・放置竹林の大幅解消（自然エリアの生物多様性回復）
・竹資源循環モデルの全国展開・横展開

４．勝ち筋

①運搬コスト問題の解決
　竹は空洞が多く運搬効率が悪いが、市内に加工拠点を設けることで克服。
②特許技術による差別化
　長谷工コーポレーションの特許技術でセメント代替を実現。Hard-to-Abate産業の脱炭素化に貢献。
③公共調達による需要の確保
　市が再生土・竹チップ舗装を公共工事で積極採用し、初期需要を安定確保。
④多様な連携による供給安定
　NPO・企業・農家・JAが連携し、市内外から安定的に竹を調達。
⑤関係人口×地域ブランド
　ふるさと住民登録制度・万博レガシー・パンダバンブーPJを活かした全国的な認知度向上。

５．政策手段

①インフラ整備・用地確保
　市有地（約3000㎡）を20年間無償貸付。地域未来交付金等で工場建設費を支援。
②官民連携協定の締結
　岸和田市×長谷工コーポレーション「竹資源循環共生圏の構築に関する連携協定」（2026年10月締結予定）。
③公共調達による需要創出
　再生土・竹チップ舗装材を市内公共工事等で積極採用。
④ふるさと住民登録制度との連携
　竹林整備参加でプレミアム登録付与。関係人口の創出とコミュニティ活性化。
⑤相談窓口の設置
　ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会内に竹資源循環相談窓口を設置予定。

岸和田市　地域資源循環分野における地場産業成長プランの概要

様式２－２

対象地域と計画に記載の企業・団体（活動拠点・役割）



核となる事業者・関係者

1　ゆめみヶ丘岸和田地区（大阪府営蜻蛉池公園周辺）
株式会社長谷工コーポレーション：竹加工工場の整備・運営
ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会：地域調整・竹林整備活動・相談窓口
アストラゼネカ株式会社・株式会社アワーズ等
アドプトフォレスト活動団体（10団体）：森林整備・竹林管理

2　神於山
NPO法人神於山保全くらぶ：竹林保全・伐採・担い手育成

3　その他市内
かねひさ株式会社：竹集成材を加工した商品の開発・加工
JAいずみの：竹材の調達・供給調整
竹林所有者、農家：竹材の供給

岸和田市：ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会連携／市有地の無償貸付／公共調達等による需要創出

長谷工コーポレーション
建設汚泥と竹チップを混合している様子



かねひさ株式会社
竹集成材を加工した商品



神於山・ゆめみヶ丘
竹林整備活動

